

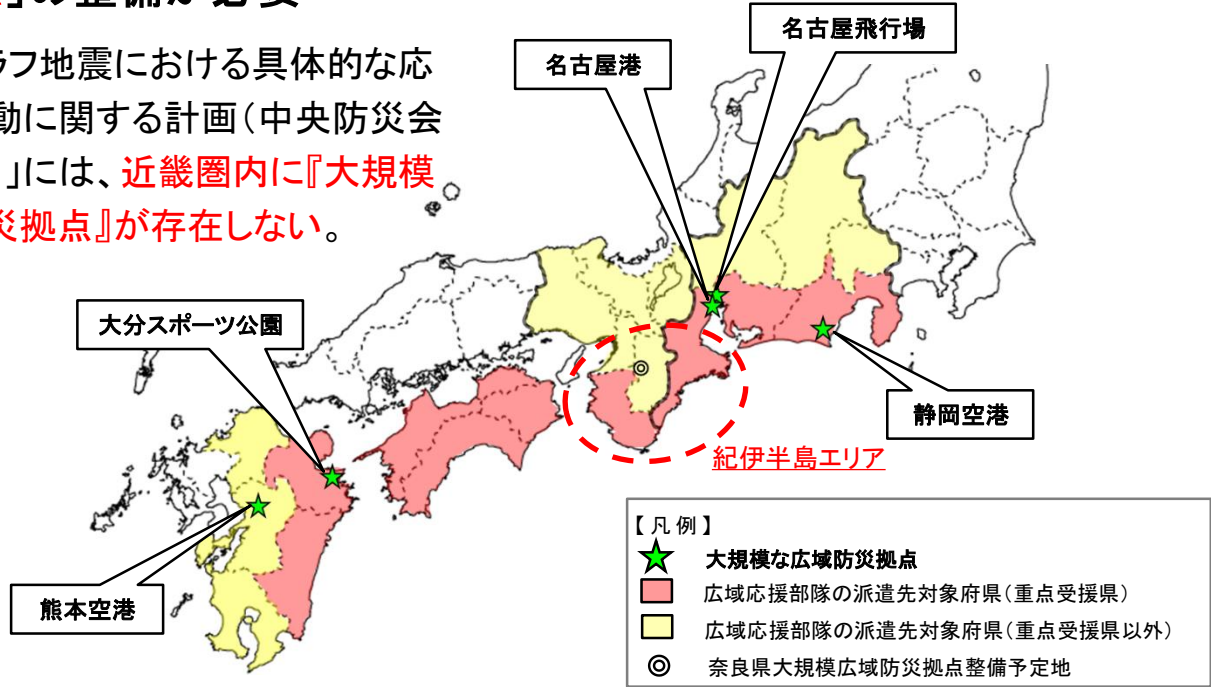
「大規模広域防災拠点」整備への支援

【担当省庁】内閣府、総務省

奈良県を取り巻く状況

南海トラフ地震に備え、紀伊半島エリアを広くカバーする「大規模広域防災拠点」の整備が必要

「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画(中央防災会議幹事会)」には、**近畿圏内に『大規模な広域防災拠点』が存在しない。**



「大規模広域防災拠点」の整備により期待される効果

○大規模な広域防災拠点の主な役割

〔航空機活動拠点〕



東日本大震災時での支援活動

〔災害医療の支援拠点〕



東日本大震災時の奈良県DMATの活動状況

〔応援部隊のベースキャンプ地〕



東日本大震災時の消防のベースキャンプ

〔備蓄倉庫物資輸送拠点〕



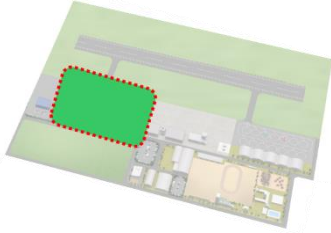
東日本大震災時の物資受入状況

⇒内陸にある五條市に「大規模広域防災拠点(2000m級滑走路併設)」の整備により、南海トラフ地震時に紀伊半島全体を支援する防災機能の発揮が可能になる。

「大規模広域防災拠点」の早期効果発現を目指した段階的な整備を計画

1期:広域防災拠点

- ・場内切盛工事で広場を整備
- ・建物を建造せず、移動可能な施設等を整備
- ・当面の防災機能を確保



2期:600m滑走路を有する大規模広域防災拠点

- ・大型ヘリの離発着・集結が可能
- ・迅速かつ大量の物資、人員の集積配送が可能

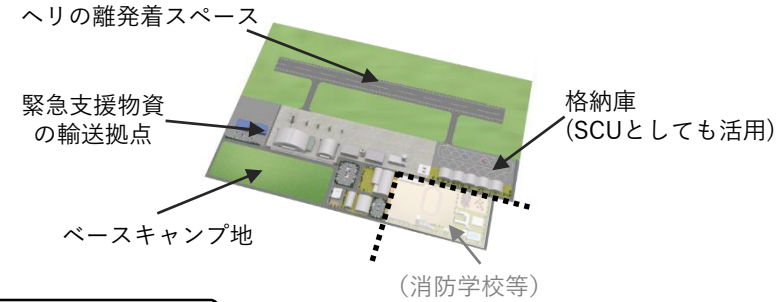
ヘリの離発着スペース

緊急支援物資の輸送拠点

ベースキャンプ地

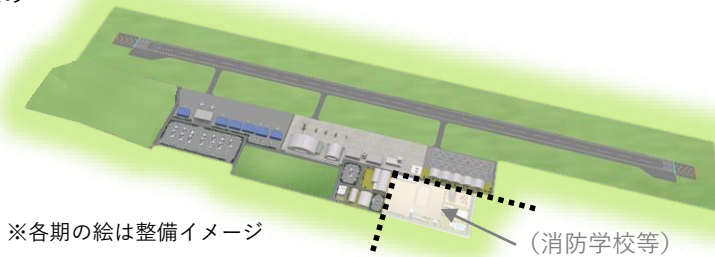
格納庫 (SCUとしても活用)

(消防学校等)



3期:2,000m級滑走路を有する大規模広域防災拠点

- ・最新の固定翼輸送機の離発着が可能
- ・物資、人員の集積配送機能の向上



※各期の絵は整備イメージ

(消防学校等)

◆概算事業費
2期整備まで 約150億円
3期整備まで 約600億円

取組の現状

- 令和2年度4月に大規模広域防災拠点整備課を新設、また、1、2期整備を優先的に進めるための用地取得に向けた取組を開始

国にお願いすること

奈良県が整備する「大規模広域防災拠点」の、国の計画への位置付け及び財政支援をお願いしたい。

○南海トラフ地震に関する計画への位置付け

紀伊半島の中心部に位置する五條市に整備するこの拠点は、奈良県はもとより紀伊半島全体の後方支援拠点として総合的かつ広域的な役割を担うことができる『大規模な広域防災拠点』の機能を満たすものです。そのため、国の計画に当該拠点を位置づけるとともに、整備にあたっての助言、支援をお願いします。

○緊急防災・減災事業の延長及び適用

当事業は、「平成29年度地方財政計画」で事業年度を「平成32年度まで」と示されましたが、事業年度を、「南海トラフ巨大地震等への対策が必要な期間まで」延長をお願いします。

また、当該拠点は奈良県が単独で整備を行い、広域的な災害支援拠点としての役割を担うものであるため、その整備に係る費用について当事業債の対象とするようお願いいたします。

【県担当部局】総務部知事公室防災統括室、総務部財政課
県土マネジメント部大規模広域防災拠点整備課